



福井県 永平寺町

議会だより

第47号

平成29年7月21日発行



がんばる団体

北陸電力
ジュニア・ブルーロケッツ
(※ 最終ページに紹介記事)

左から上口凌冴君、齋藤瑛太君、前川幸輝君

2 「永平寺参ろ一ど」で自動走行実証実験

11 そこが聞きたい! 議員16人が一般質問

22 議会と語ろう会 質問への回答 [ダイジェスト版]

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索

「永平寺参ろ一ど」で 自動走行実証実験始まる

永平寺町は豊かな自然環境のなか農業や、繊維産業・製造業、大本山永平寺の観光産業などが基幹産業として発展してきました。

近年、これらは産業構造の変化や観光ニーズの多様化等により、事業所数は減少しています。

そんな中、新たな産業の取り込みとして「永平寺参ろ一ど」を利用した「自動走行実証実験」の候補地として名乗りを上げ、全国の33の自治体などの中から本町を含め4カ所が採択されました。

国内はもとより、県内の他市町に先駆け「自動走行実証実験」に取り組むことで、国・企業の研究機関が来て新たな企業の誘致や雇用の機会も期待できるものと思います。

自動走行とは、運転手がいなくても道路状況に応じて自動で車両が走行する状態をいいます。

障害物の手前で自動ブレーキをかける安全運転支援システムや、高速道路などで前方を走行する車両に、一定間隔を置いて追従するクルーズコントロールもすでに実用化されています。

さらに「自動運転」は世界中の国・メーカーで、ITを駆使した技術開発が進展して2020年代後半には完全自動走行システムが導入されるだろうとしています。（国や道路事情等で差異）

「自動走行で変えていく、これからの地域のかたち創造プロジェクト」の採択

自動走行実証実験の経費

ハード事業

【歳入】	【歳出】
地方創生拠点整備交付金(国) 6,000万円	「自動走行実証実験」測量設計業務委託料 現地測量設計等 2,000万円
自動走行基盤整備支援事業(県) 3,000万円	「自動走行実証実験」基盤整備工事 永平寺参ろ一どの整備等(舗装ほか) 1億円

ソフト事業

【歳入】	【歳出】
地方創生推進交付金(国) 540万円	「自動走行」情報発信事業 宣伝活動費(イベントなど) 1,800万円

去る6月16日、酒井要議員が突然の病により永眠されました。

酒井要議員は、平成15年に旧上志比村議会議員に初当選以来、副議長、議会運営委員長、各種常任委員会委員などを歴任され、一方では、永平寺町身体障害者福祉協会会長、(一社)福井県身体障害者福祉連合会会長として、障がい者にやさしいまちづくりのため、先陣を切って活躍され、その功績は誠に顕著なものであります。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。



訃報

【永平寺参ろ一ど地図】 約6km 永平寺口駅～永平寺バス停



本町における「自動走行実証実験」は、ようやく実証実験の出発点にたどり着いたところで、これからが本番です。

国・企業の「自動走行実証実験」チームには実証実験によって、いろんな課題を探り、検証して当初の目的達成に邁進していただきたいと思ひます。

「永平寺参ろ一ど」沿線の永平寺南地区でも、今までは、のんびりと歩く遊歩道が、この秋以降には実験車両が走行することになり課題も見えてきます。

- たとえば…
- ①歩行者と実験車両の棲み分けは？
(タイムスケジュール管理を)
 - ②実験車両が走ることで、一般車が間違っ通らないか？
(PR活動を)
 - ③国道・町道・農道等の交差点の安全対策はどうなる？
- …など考えられます。

議会としては安全な「実証実験」に努めてもらいます。

自動運転制御段階ランク付け

SAE (米国標準化団体)

レベル	内 容	対応主体	
レベル0	常時、運転者が運転制御を行う	運転者	
レベル1	加速・操舵・制動のいずれかを自動的に行う	運転者	
レベル2	運転者は常時、運転状況を監視操作する必要があるが、加速・操舵・制動のうち複数の操作が自動的に行われる	運転者	
レベル3	加速・操舵・制動を全て自動的に行うが、緊急時やシステム限界等の場合は、運転者が自ら操作を行う	システム	
レベル4	運転操作、周辺情報の収集・監視を全てシステムに委ね走行させる。	高度運転自動化(限定条件内)	システム
レベル5		完全運転自動化(限定条件なし)	システム

町としては、産総研(産業技術総合研究所)が行う電磁誘導線を利用したレベル3による実証実験を通して、将来の実用化を目指していきたいと考えています。



予算決算常任委員会審査報告

委員長 伊藤 博夫

平成29年度一般会計補正予算

5,055万円

特別会計補正予算

302万円

当委員会に付託された議案第29号「一般会計補正予算」から第32号「上水道事業特別会計補正予算」までの4件について6月8日（木）に審議した。一般会計では宅地造成調査業務については、その結果の内容について説明を求めることで賛成多数にて可決、他議案についても全議員賛成にて可決した。主な質疑応答は次のとおりです。

【主な項目】

防災行政無線整備事業

防災無線のデジタル化移行に伴い自主防災組織資機材購入費補助金を活用し、アナログ式戸別受信機を購入した世帯に対して無償でデジタル戸別受信機に交換する工事費を予算化

950万円
(一般財源)

宅地造成調査業務委託料

栗住波地区の宅地造成候補地において、今後の造成する際の地質調査を実施するための予算化

142万円
(一般財源)

企業立地促進事業助成金

永平寺町企業立地条例の適用認定に基づき、操業開始している企業に対し、平成29年度の家屋及び償却資産の税額が確定したので、企業立地促進事業を予算化

163万円
(一般財源)

自動走行情報促進事業補助金

永平寺参ろ一どでの自動走行実証事業を推進するにあつて、平成29年度地方創生推進交付金「自動走行でかえていく、これからの地域のかたち創造プロジェクト」の採択をうけたことから、自動走行の宣伝活動等、関連事業補助金としての予算化

1,080万円
(国庫支出金 一般財源)

幼稚園・幼稚園施設長寿命化工事

「永平寺町幼稚園、幼稚園施設、長期保全・再生計画」に基づき、平成29年度に施工予定の上志比幼稚園並びに吉野幼稚園施設長寿命化工事の設計委託業務が完了し、工事費を予算化

2,182万円
(町債 一般財源)

放課後児童クラブ運営諸経費

御陵児童クラブ移転改築工事の詳細検討結果において、空調効率を考慮した移動式パーテーションを選定し、安全で快適な児童育成環境を確保するために工事費を増額したので予算化、また児童クラブの受け入れ児童数が増え安心して安全なクラブ運営を維持するため、指導員の確保のための予算化

609万円
(国庫支出金 県支出金 一般財源)

問 ◆子育て支援課
中期財政計画に基づいて、永平寺町幼稚園・幼稚園施設、長期保全・再生計画にそつた工事を進めているのか。
答 上志比幼稚園（結露対策）並びに吉野幼稚園（防水外壁改修）施設長寿命化工事の設計委託業務が完了したため、今年度は計画にそつて改修工事を進めていく。

問 栗住波地区の宅地造成の地質調査は、なぜ必要となるのか。
答 地質調査については購入する場合必要となり議会にも報告する。

問 永平寺参ろ一どでの自動走行推進事業に国から地方創生交付金の採択を受けたが、関連事業への補助金についての説明不足ではないか。
答 関連事業とは「大燈籠流し・秋浪漫」等について。全員協議会で説明をしている。

平成29年 第2回臨時会報告

議長 齋藤 則男

平成29年第2回永平寺町議会臨時会を5月11日（木）に開催しました。審議され可決された内容は、次のとおりです。

第2回臨時会議案

承認第2号 平成28年度一般会計補正予算の専決処分承認について	承認	議案第25号 松岡小学校南校舎大規模改修工事の請負契約締結について	可決
承認第3号 税条例の一部を改正する条例の専決処分承認について	承認	議案第26号 松岡中体育館部室・トイレ等改修工事の請負契約締結について	可決
承認第4号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分承認について	承認	議案第27号 B&G海洋センター耐震補強工事の請負契約締結について	可決
		議案第28号 福井県市町総合事務組合の規約の変更について	可決

平成29年 第3回定例会報告

議長 齋藤 則男

平成29年第3回永平寺町議会定例会は5月29日（月）から6月14日（水）まで17日間開催されました。審議され可決された内容は、次のとおりです。

第3回定例会議案

報告第1号 平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告	議案第35号 こしの国広域事務組合規約の変更について	可決
報告第2号 平成28年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告	議案第36号 指定管理者の指定について	可決
報告第3号 平成28年度上水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告	議案第37号 松岡公民館耐震改修工事請負契約の締結について	可決
議案第29号 平成29年度一般会計補正予算について	可決	議案第38号 旧上志比小学校体育館耐震改修工事請負契約の締結について	可決
議案第30号 平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決	議案第39号 消防ポンプ自動車（CD-1型）の取得について	可決
議案第31号 平成29年度介護保険特別会計補正予算について	可決	議案第40号 災害対応特殊ポンプ自動車（CD-1型「CAFS装置付」）の取得について	可決
議案第32号 平成29年度上水道事業会計補正予算について	可決	発委第1号 町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第33号 永平寺町における若者や学生が活躍するまちづくりの推進に関する条例の制定について	可決	陳情第1号 障害者施策に関わる陳情書採択について（H28分）	趣旨採択
議案第34号 町道の廃止について	可決	陳情第3号 県民の利便性を最優先に、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択について	不採択

議案への賛否一覧

議席順に掲載（○賛成 ×反対 一欠席 □退席）※議長（齋藤則男）は採決に加わりません

	上坂	滝波	長谷川	朝井	酒井	江守	小畑	上田	金元	樂間	川崎	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田
議案第29号	○	□	○	○	○	○	○	□	□	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	○	×	○	○	○	○	○	□	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○
陳情第3号 ^(H28分)	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等20件については全員賛成です。

主な質疑応答

一般会計補正予算

問 ◆総務課
アナログ式戸別防災無線機の対応は全家庭に周知したのか。後でデジタル機種購入者には負担増で苦情がでるのでは。

答 自主防災組織資機材購入補助金を活用し、永平寺地区・上志比地区でアナログの戸別受信機を購入した世帯に対応する。

問 ◆総合政策課
企業立地促進条例に適合した補助事業となっているのか。

答 適用認定に基づき操業開始している企業2社に対し、平成29年度の家屋および償却資産や地元採用3名以上の雇用があれば助成金の補助対象となる。

問 禅の里「笑来」の備品購入費はどのようなものか。

答 学生のセミナーや情報発信事業の対象となり、県市町振興協会のふるさと助成金でプロジェクトを購入。

議案への賛否討論

議案第29号 平成29年度 一般会計補正予算

反対討論 上田 誠

子育ての町としての施設充実に生活に直結する予算であり全てを反対するものではない。しかしデジタル戸別受信機の無償交換費はアナログ式の時に補助を受け（1万円以下で設置）今回無償で交換すれば二重の補助となり、現在のデジタル式（3〜4万必要）の補助対象との差違が生じる。差額を求めるべきである。よって賛成の立場は取れず保留（棄権）する。

賛成討論 川治 孝行

デジタル化までの1〜2年間に災害がいつ起きるか分からない。緊急時に備え77世帯に補助したのは生命財産を守る上からも大切である。今回のデジタル化においても66世帯が加入したことから補助は適正と考えられる。

反対討論 金元 直栄

基本的に補正予算の目的・内容を

が具体的に示されていない。問われたら答える、聞かなかったら答えない。このような態度は問題がある。よって退席して棄権する。

賛成討論 江守 勲

戸別受信機の予算化については、昨年の12月に説明を受け議論している。当時は永平寺・上志比地区の防災行政無線のデジタル化は考えていなかった。しかし上志比支所の再編案が出た時、防災行政無線の移設の必要性があり、点検した。その結果、経年劣化が激しく急遽デジタル化することになったため、この間に戸別受信機を購入された方への補償という意味での予算化であり、この予算案に賛成する。

反対討論 滝波登喜男

宅地造成のための再地質調査費の補正理由や自動走行のPRのための国の補助金の使い方についての説明不足など、十分な説明がなかったため反対する。

議案第36号 指定管理者の指定について

反対討論 滝波登喜男

公募によらない指定管理者の指定についても、条例でうたわれているように必要書類の提出を受け、審査の上で指定しなければならぬ。いくら町が半分以上出資している法人といえど、やることはしっかりやらなければ。

賛成討論 奥野 正司

寄贈された民家を商工会と連携し、地域の歴史遺産を活かした宿泊施設として本町へ訪れる人の利用に供するために「禅の里笑来」として再生した。その指定管理者として、本町の人的資源を活用した「まちづくり会社」を指定することは今後の本町の「まちひとしごと創生総合戦略」の出発点となるもので本件議案に賛成する。

反対討論 上田 誠

禅の里笑来の時も示したが経営の方針やどこを対象者にするのか都会のホテルや、温泉地、リゾートとは違った立地にありながら稼

働率や価格設定に甘さがある。指定管理するまちづくり会社の経営全般から勘案すると不安を感じる。よって現時点での指定に対してはもつと吟味してからでも遅くないと考え保留（棄権）する。

賛成討論 江守 勲

近隣市町で一棟貸しの料金調査し設定された利用料金であり、旅行社や学生の合宿に興味を持たれているとの説明を聞いている。また、町内に宿泊施設が少なく、滞在時間・周遊時間の増加を図るなど運営内容の説明もあり、これに賛成する。

反対討論 金元 直栄

指定管理者関係条例の指定は、本来契約によって業務を管理者に任せるので行政が口を挟むことは出来ない。だから指定管理者を選ぶ場合、公平性が求められる。管理委託なら町の指示も出来るが「えい坊くんのまちづくり会社」は今後いろんな指定管理を受けたというが、それは出来ない。そうであれば指定管理条件を変える必要があると思うので反対の立場

議案への賛否討論

議案第37号 松岡公民館耐震改修工事 請負契約の締結について

反対討論 金元 直栄

合併後、公共施設のあり方を見直すとしてきたが、相変わらず類似施設は増えている。近くにえい坊館ができたが、本来は公民館の耐震と改装費を加え一つの施設にすべきではないかと指摘してきたが、公共施設の数が増え続けているのは問題で賛成できない。えい坊館の建設時に施設のあり方を見直すべきだった。

賛成討論 中村勘太郎

この施設は、従来より地域住民の多くの方々に親しまれ老朽化した施設を耐震をし、安全に安心して利用できるように要望がある。えい坊館は主に永平寺町の観光施設や特産物等の情報を発信する施設目的があり、これまでの松岡公民館の利用目的は異なり、多くの地域住民や各種団体等が幅広く活躍する場として大変必要であり、

よって賛成する。

反対討論 上田 誠

計画当初は消防庁舎移転に伴い教育委員会の移転や、えい坊館建設時点の見直しや集約の必要性を示した。また、耐震するに当たっては、このままの機能を温存する形より使用面での改良や、今後の維持管理面、何十年後の解体等を考えると後世につけを後回しすることになる。よって当初から異論を述べた通り反対の立場をとる。

賛成討論 江守 勲

議案と関係のない反対討論があったが、松岡公民館の耐震化については、えい坊館に公民館機能を持たせては、との声もあったが、県の補助要綱に公民館機能を持たせることができないとあり、行政としても様々な検討した結果の判断であり、これに賛成する。

賛成討論 奥野 正司

松岡公民館の更新問題は、これまで旧消防庁舎の利用や、あるいは町中活性化として「えい坊館」にその機能を求められないか

議案第38号 旧上志比小学校体育館耐震改修 工事請負契約の締結について

反対討論 滝波登喜男

有り余る公共施設を削減していかなければ、次世代に大きなつけを回す。旧体育館の活用計画、維持管理計画等示されず、存続有りきで工事発注となっている。

賛成討論 酒井 要

身体障害者のスポーツに、フライングディスクという無風の状態で円盤を投げて点数を稼ぐスポーツが団体競技の種目にもなっている。福井県内各市町においても屋内競技場がある。永平寺町にもやつと屋内競技場ができたということで大変喜んでおり賛成する。

反対討論 金元 直栄

この施設こそ整理すべきだ。旧

上志比には村の体育館として現小学校の体育館がある。土の上で競技ができるというが、現小学校の体育館の活用で十分まかなえることもあり、整理できる施設は整理すべきだ。

賛成討論 川崎 直文

旧上志比小学校体育館は「永平寺町公共施設等総合管理計画」で「屋外競技用の室内練習場」として耐震補強、改修工事を実施」と計画されている。議案は、この耐震改修工事の請負契約。

昨年度に実施した耐震補強計画・実施設計による請負契約で、契約内容を確認した。契約締結に賛成。

反対討論 上田 誠

議案第37号と同様に、公共施設の再編成から考えて解体の方向性もありながら、屋根付屋外競技場としての耐震工事に約1億円以上の計画である。費用対効果や、今後の維持管理、何十年後には解体

議案への賛否討論

も必要となり、後世につけを後回しすることになる。よって当初から異論を述べた通り反対の立場をとる。

「・・・解体の方向性もありながら・・・」との発言について、確認したところ、これまでも行政の公共施設再編計画においても、解体の計画はありませんでした。

賛成討論

中村勘太郎

この請負契約の締結については、理事者の説明において理解されたものである。公的施設の耐震改修利活用で、高齢化社会等を踏まえ、永平寺町に今までにない室内グラウンドとして、多くの市民の希望であるスポーツ等憩いの施設に修復し、禅の里温泉・道の駅等をより有意義に利用できる。直接住民生活に沿って活かされる締結である。よって、この議案に対し賛成する。

反対討論

長岡千恵子

新しくスポーツの施設を開設しても住んでいる地区によって利用者が偏る。その証拠に、禅の里温泉も松岡地区からの利用者は少ないので、同じようになると考えられる。この施設そのものを知らない町民もおり、全体としても望んでいないと考えられる。無駄な施設となる可能性があるため反対とする。

賛成討論

江守 勲

今年の3月に行政より公共施設等再編計画が示され、議会も審議しており、急な工事ではない。また、松岡地区からの利用者が少ないとの反対討論があったが、スポーツ少年団や高齢の方からも屋内施設を待ち望む声を多く聞いていることから、これに賛成する。

大阪まで伸びるまで続くのでは、何十年も不便なままになることから、現在の特急を残すことは必要だ。よってこの陳情には賛成だ。

反対討論

江守 勲

①県内17市町全てに提出された陳情ではなく、提出された自治体では不採択の方が多い。
②在来線を存続させた場合の自治体の費用負担の担保が取れていない。
③意見書の提出先が明記されていない。
以上のことから、この意見書の採択に反対する。

賛成討論

長岡千恵子

新幹線と並行在来線の特急列車が存続運転しているところはないと思う。本件の場合、経済圏が名古屋や大阪になることから、サンダーバードや、しらすぎの存続が本県の経済を支える基盤となる。富山や金沢とは著しく条件が異なるので、並行在来線の特急列車の存続は不可欠と思われるので、意見書の採択が必要と考え原案に賛成する。

平成28年度分 陳情第3号
県民の利便性を最優先に、特急「サンダーバード」「しらすぎ」の存続を
求める意見書採択について

賛成討論

金元 直栄

敦賀まで新幹線が伸びると、今の状況では、大阪や名古屋方面は敦賀で乗り換えることになる。県内では新幹線に乗る駅も、各駅で止まる本数も極端に少なくなる中では、不便になるだけだ。これが

若者や学生が活躍するまちづくり条例の制定

総務常任委員会 委員長 中村勘太郎

本委員会は6月9日（金）に全委員出席のもと開催し、総務関係の今議会に付託された2議案、継続審査平成28年分陳情1件の案件について慎重に審議した。

議案第33号

永平寺町における若者や学生が活躍するまちづくりの推進に関する条例の制定について

この条例の制定は現在、若者や学生が連携したまちづくりをと本町が考えている中、改めてこの条例を制定し、若者が活躍できるまちづくりをより強固なものにするためのもの。地域の若者や学生方々がまちおこしの一役を担って活躍して頂きたい。

【主な確認事項】条

文中の「事業者」とは、町内で勤務する町内の事業所に限定していること。「目標を掲げ」とは、町の事業、行事、イベント等に活躍できる若者で作る実施計画書を考えること。「援助」や「機能」については、地元住民との積極的な接し方や、話し合いの場に相互に参画しやす



町議会議場での大学生のグループワーク

環境づくり等々を確認する。

議案第35号

この国広域事務組合規約の変更について

この国の規約の変更は、現在本町で放映されているこの国ケーブルテレビは、平成14年に福井県知事の許可を得て発足し現在に至っているが、運営上この国ケーブルテレビと福井市ケーブルテレビを統合するためには、一時解散する執務を行うため、規約の一部を変更する必要があるため。

【主な確認事項】どの事業者で会務するのかについて

では、福井市、永平寺町、福井ケーブルテレビ、この国ケーブルテレビの4事業者。また、その結果は住民に、しっかりと説明周知して頂きたい。

採決の結果、委員会全員賛成により可決

継続審査 平成28年度分 陳情第3号

県民の利便性を最優先、特急「サンダーバード」「しらすぎ」の存続を求める意見書採択のための陳情について

北陸新幹線の大阪までの早期全線開業が最優先。北陸と中京圏のアクセスアップを求める特急「しらすぎ」等の存続は大事だが、それらに係る財源は、各市町の毎年多額の負担が必要となる。中部圏知事会議の中「北陸・中京新幹線」整備を検討する必要性等様々な提案がなされている現状である。

採決の結果、委員会全員賛成者なしにより不採択

町道の廃止

産業建設常任委員会 副委員長 川治 孝行

議案第34号 町道の廃止について
採決の結果、委員会全員賛成により可決

6月9日（金）本案は、松岡清水地区の町営住宅跡地を駐車場として整備し、福井国体の会場である松岡中学校および武道館の駐車場として利用するため、整備区域内にある町道松岡清水4号線から9号線の6路線107・1mを廃止し、約60台の駐車スペースを確保するものです。

国体終了後は、翠荘の職員や来訪者の駐車場として継続利用する。

委員からは、駐車場から体育館前を通る環状線型の道路に出来ないのか等の4問の意見が出された。採決の結果全委員賛成で可決された。



廃止路線位置図

答えよう!

町議会クイズ

- Q1 自動走行実証実験のハード事業費（舗装整備費など）はいくらか。 ヒントは…P3
- Q2 議会の3常任委員会は8月以降いくつに変更するのか。 ヒントは…P10
- Q3 松岡清水区の町営住宅跡地は何になるか。 ヒントは…P9
- Q4 永平寺町の農地面積は。 ヒントは…P13
- Q5 永平寺ブランドの名称は。 ヒントは…P14
- Q6 永平寺町の幼稚園・幼稚園の数は。 ヒントは…P18

（回答はP24下段にあります）

6月定例会 一般質問 **そこが聞きたい!** 問&答

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

- 長岡千恵子 … ⑪ 奥野 正司 … ⑯
- 長谷川治人 … ⑫ 江守 勲 … ⑰
- 川治 孝行 … ⑫ 川崎 直文 … ⑱
- 小畑 博 … ⑬ 樂間 薫 … ⑱
- 上坂 久則 … ⑭ 金元 直栄 … ⑲
- 朝井征一郎 … ⑭ 上田 誠 … ⑳
- 多田 憲治 … ⑮ 滝波登喜男 … ㉑
- 中村勘太郎 … ⑯ 伊藤 博夫 … ㉒

問 土曜日に児童クラブの開設を



長岡千恵子議員

答 実態を把握し対応

問 幼稚園では土曜保育を実施しているが、その利用者は、子育て支援課長 土曜保育は町内10園中8園で実施。利用実績として、町全体で40〜50人の園児が利用。園児数全体の7%。松岡地区の利用が多い。

問 幼稚園も小学校も同じ6年間なので土曜日に保護者が不在になる小学生は幼稚園児より多いと考えられる。保護者が不在になる子どもたちはどうして過ごしているのか把握しているのか。

子育て支援課長 土曜日に児童がどういう状態か、把握できていない。アンケートを実施

問 幼稚園では土曜保育を実施しているが、その利用者は、子育て支援課長 土曜保育は町内10園中8園で実施。利用実績として、町全体で40〜50人の園児が利用。園児数全体の7%。松岡地区の利用が多い。

問 幼稚園も小学校も同じ6年間なので土曜日に保護者が不在になる小学生は幼稚園児より多いと考えられる。保護者が不在になる子どもたちはどうして過ごしているのか把握しているのか。

子育て支援課長 指導員の配置や施設の利用状況など課題はある。実態を把握し対応が必要かも考えていく。

問 民間のグループホームやデイサービスに土曜日の児童保育事業の開設を働き掛けること

問 【その他の質問】 高齢化でゆったりとしたまちづくりは高齢者の積極的な参加を

問 土曜日の放課後児童クラブの開設は難しいのか。

子育て支援課長 社会情勢の変化に伴った子どもの安全性は非常に重要。実態を把握した上で現状に基づいて対応する。

問 土曜日の放課後児童クラブの開設は難しいのか。

子育て支援課長 高年齢者子どもたちの交流はいずれにも相乗効果があると期待している。地域や事業者に働きかけることも必要と認識。

町長 時代に対応して永平寺町らしいサービスを充実し、子どもたちの笑顔が溢れるようにしたい。



放課後児童クラブ

事業の内容と今後の見通しを確認

教育民生常任委員会 委員長 滝波登喜男

当委員会は、6月12日（月）に委員全員出席のもと開催した。付託議案は、障がい者施策に関わる陳情書の採択について。協議した結果、趣旨採択することに決した。また、次の6項目について説明を求めた。

- 一、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の取り組み状況および見直し
- 二、障がい者福祉計画・福祉計画策定取り組み状況および見直し
- 三、地域と進める体験推進事業の取り組み
- 四、中学生海外派遣事業の28年度報告
- 五、健康長寿室の業務内容
- 六、不登校児童生徒の実態と支援

主な意見（右の項目の説明）

- 一、在宅で24時間見守れる訪問看護体制を計画に盛り込む。
- 二、発達障がいなど見えない障がい者についても計画の中に。
- 四、400万円もかけているが、義務教育の中で再検討が必要では。



福井大震災語り部の会628

3常任委員会を2常任委員会に「議会委員会条例」の一部を改正!!

議会運営委員長 伊藤 博夫 議会行財政改革特別委員長 滝波登喜男

かねてより議会行財政改革特別委員会（4月20日（木）、5月22日（月）開催）で、次期議員改選（H30年7月）を控え14名議会の組織・運営について検討してきた。

- ①常任委員会の数の変更とその所管
- ②本会議主義の一部導入
- ③通年会期への移行について

4月27日（木）には行政との協議を行った。今6月議会で議会運営委員会提案で①「総務常任委

員会6名」を「総務産業建設常任委員会9名」に改め「税務課」の次に「農林課、商工観光課、建設課、上下水道課」を加える。「教育民生常任委員会6名」を「教育民生常任委員会9名」に改める。②本会議主義導入は予算決算審査時に行う。3回の審査会の役割や運営方法の具体化を検討した。③通年会期制への移行は様々な課題が想定され、その解決のため検討機関で結論を出すことになった。



問 20年・30年先農地をどう守るか

答 農地中間管理機構で救っていく



小畑 傅 議員

問 本年度を最後に米の生産調整はなくなり、米の直接支払交付金も無くなる。農家にとって全くの自己責任の中に置かれるわけで、既に来年のこう言う状況を踏まえて、本年度の生産者米価は一俵当たり2千円以上下落する予想もされている。おそらく今まで以上に農業離れが進んでいくのだから。果して

答 今後、農業・農地を守れるのか危惧するものである。行政では農地中間管理機構が機能して農地を守っていると言ったことだが、町全体で機構が仲介している面積と率はどの様になるのか。最終的にどれ位を中間管理機構で賄うのか。
農林課長 町全体の農地面積1066ha、中間管理機構に集積され

た面積153haで、14・33%になる。今後、担い手が不足したり耕作放棄地が出れば中間管理機構で対応していきたい。
問 受け手の認定農業者37名と出ているが、その後増えているのか。その平均年齢は何か。その平均年齢は何歳か。若手農業者の育成、人作りはどうなっているのか。
農林課長 国の支援事業の青年就農給付金制度は経営開始から最長5カ年支援を受ける。県の農業インターンシップ制度もあり今後このような制度を活用していきたい。



田植え直後の圃場

問 次世代品種の「いちほまれ」普及計画はどうなっているのか。
農林課長 県内131組織、120ha、600tの収穫見込み、本町は3組織15haの認定

を受けている。今秋の結果を見て、来年の割り当てが決まる。

進学、就職の関係上、その間はいやおうなしに永平寺町から出ざるを得ない。しかし子どもの頃の体験や経験、いつかは永平寺町に戻ってくるぞという故郷

を思う気持ちは大事。学校が一番大きい目標に「故郷を愛する、誇りに思える教育」を掲げている。永平寺町故郷発見学習等を取り入れ、地元永平寺町の良

いところ、故郷のよさを味わおうと、小さいうちにそういうよさの体験を今、積極的に進めている。

が必要になることも考えている。
問 平成30年までに橋梁、電磁誘導線の設置は実証実験と併用して工事が出来るのか。
建設課長 橋梁、電磁

誘導線の整備は今年度中に完了し、来年実験に入る予定。一部荒谷から志比の区間は今年

度中に実験に入る。実証実験は永平寺バス停迄。

【その他の質問】
問 人口減少は地域の課題
答 地域の自助、共助をもとに包括支援する

問 子ども達が遊べる広い場所を

答 松岡公園再整備で町内外にPR



長谷川治人 議員

問 議会と語るう会で諏訪問区子ども会代表が永平寺町内に子ども達が遊べる広い場所が欲しいと。
生涯学習課長 松岡公園は、眺望がすばらしく今後も桜の名所で整備。旧松平藩の町並みや周辺の史跡めぐり等散策道路も整備。今、公園の一角には、手繰ヶ城山古墳等や近くには歴史遺産である下志比監視哨跡地がある。
また、登録有形文化財に指定の松岡駅、志比駅、旧永平寺口駅



完成が待たれる松岡公園

等を線で繋ぐ散策の仕掛けも整備。永平寺町では町内外に対し散策や見学を通して地域のPRをしていく。
問 子ども達に対する良い環境作りは重要。

人口減少は、地域内の住みやすい環境作りや地域内の良さを発信、地域にいかにか根づくか。また、故郷に帰りたい、出来れば地元で働きたい。その心の支え環境作りが大切。
教育長 大人になると

問 参ろーどへの自動走行車について

答 来年度まで実証実験、その後運用



川治 孝行 議員

問 遊歩道は車道か歩道か。道路法での位置付けは。
建設課長 道路法上の位置付けとしては町道。
問 実証実験の電動カーは遊歩道の走行は可能か。
建設課長 車両も通行可能。
問 実証実験の期間および自動運転車の運転開始後は、歩行者、自転車は通行可能か。
建設課長 実証実験の期間は警察から道路使用許可を得て歩行者、自転車を通行止めしたい。運用時には通行帯を設け共存を目指す。
問 舗装構成は何を基

準とするのか。
建設課長 委託業務で通常の車道同様CBR検査を行い舗装設計施工指針、便覧に従い設計する。
問 京善地係の箇所トイレが撤去され休息所となり舗装も幅員1/2が舗装されていないが今後の対応は。
建設課長 トイレは本格運用時には検討する。また舗装幅の狭い箇所は用地を確認の上、拡幅舗装する。
問 「参ろーど」での朝夕の散歩、ジョギングを楽しむ人への対応は。
建設課長 時間帯の交通量を調査し、利用者の多い時間帯は実験から外すなど地元と協議する。
問 交差点での事故対策は。
建設課長 実証実験中は運転手が乗るが、運用時には信号機や踏切

問 新農業体制による農業の6次産業の指導育成を

答 支援事業見直しもJAと協議していく



多田 憲治 議員

問 日本の一次産業である米の生産に大きな空洞化の到来を目前に、来年度から生産調整廃止に伴い長年実施してきた実情と本町独自の水田農業構造改革対策の新たな項目も含め補助の見直しは、
農林課長 平成30年の生産調整廃止に伴い町全体で493ha分金額にして3697万円余りが入らなくなる。本

問 町の将来に向けて農業支援事業見直しも今後JAと協議していく。
問 県補助を受け他市町での農業の6次産業施設建設の事例は
農林課長 坂井市では農産物の料理を販売する施設、若狭町では梅とか海産物を使った加工施設がある。
問 近年個人営農から中間管理機構を通じ農農組織・認定農業者

傍聴にお越しく下さい

生中継

9月定例会 (予定)

8月28日(月) 10時~ [本会議]

9月 4日(月) 5日(火) 6日(水) 10時~ [一般質問]

9月 7日(木) 9時~ [補正予算審議]

9月12日(火) 10時~ [本会議(補正予算議決)]

9月13日(水)~10月30日(月) [決算審議期間(予定)]

10月31日(火) 10時~ [本会議(予備日なし)]

- 日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。

★エレベーター完備

問 永平寺ブランド進捗状況は

答 『SHOJIN』をフレーズに確立を目指す



上坂 久則 議員



出来上がったSHOJINのロゴ

問 永平寺ブランドは確立しているのか。
農工観光課長 ブランド戦略室設置3年の経過は、ブランド戦略推進委員会活用で町民の声を活かしブランドコンセプト「SHOJIN 気づきに出会う禅のまち」と決定した。今後PRを強化する。
問 委員会の活用方法今後の進め方は。
農工観光課長 SHO

JINのコンセプトを打ち出したポスター作成。地元の人への理解と認識度アップを第一義とした。現在の取り組みは、商品のブランド認定制度の推進。9月には認定品を決定する予定。商工会にもテスト販売、実施を要請。統一パッケージもブランド認定品と絡めたい。
要望 ポスターの人物からブランド品への愛情と自信と責任を感じさせるイメージポスターとなつている。昔からの基本「人、金、物」の順位、重要性を認識し自らを信用して頑張ってもらいたい。

問 上志比支所新築工事に、図書館併設を

答 上志比地区の安全・安心な公共施設計画を



朝井征一郎 議員

問 公共施設等は、合併前にやすらぎの郷に整備を進められてきた。上志比地区の活性化を考えると従来の施設の設定目的を見直し、その施設を最大限に活用して縮小・充実に図れば、困難な問題ではないと思う。不審者の事件を受けて児童生徒の安心・安全の視点から住民の目的届きやすい上志比支所新築工事に図書館の併設を。
上志比支所長 今回の公共施設再編計画の中、また公共施設等



上志比図書館

総合管理計画では、上志比支所の場合は新築工事の方針で上志比地区の拠点となるように計画されている。
今後、各課と連携を密にし、支所の機能を十分検討しながら、公民館の機能とあわせて、町民の安心・安全につながるような公共施設を計画していく。
問 現在のの上志比図書館は、高齢者が利用するには遠くて行きにくい。また、階段の昇り降りが大変だ。将来の災害に備えて防災、避

【その他の質問】
問 福祉政策実施の成果と問題点
答 時間経過に合致した政策実施

問 子育て支援策について
答 公平すべき制度見直し施策

問 入札制度について
答 関係の法令遵守と育成強化

難生活のための物品を十分に確保しておく防災備蓄室、福祉避難所などを併設し、子どもから高齢者まで利活用でき、町民の安心・安全につながる公共複合施設を。

生涯学習課長 今現在のの上志比図書館はサンサンホール2階にあり、地域のお子様から、高齢者の方まで利用されており、ここ何

年間、利用者が余り減ることはない。お子様を迎えにいたりとか、またいろんな土曜日の行事の際に利用されているのが実績。

へ耕作移譲の中、生産調整廃止制度に伴い米価の下落も予想される。中山間地域を占める本町の農業を継続させる為にも町独自の後押し予算も配慮すべき。
本町独自の補助規定 今後県指導でJAと

を設け営農組織、認定農業者等に収穫作物での6次産業の指導育成の考えは。
農林課長 6次産業は農業、農業の活性化、人員雇用など大きなメリットもある。

市町が地域特性に合った農業政策を連携して実施していく県の政策です。集落に応じた方向性を農業政策に結び付けた

問 防災力・消防力の向上を目指して

答 消防本部と連携を図り取り組む



江守 勲 議員

問 町は、防災士の取得を推進しているが今後の展開は。

総務課長 町としては、有志の方々で防災士会を立ち上げてもらえることが良いと思う。各自主防災組織の方々の意見を聞きながら検討したい。

問 防災士の役割はどのようなことか。

総務課長 自主防災組織で重要な役割やアド

バイザーとして、防災力の向上に一翼を担って頂きたい。

問 国では平成29年度から3カ年で、防災拠点のWi-Fi環境整備を全国約3万カ所に整備する補助事業があるが、活用する考えは。

総務課長 避難所になっている小中学校は既に教育用Wi-Fiが整備されているが、災害時に対応できるのか確認

し、国のWi-Fi環境整備も踏まえ検討する。

町長 こしの国ケーブルテレビの移譲と、民間会社のネット環境整備の話が進んでいる。民間サービスと国の補助事業をいざという時のためにしっかり検討する。

問 地区別防災計画の作成は検討されているのか。

総務課長 地区別防災計画は、今後、改定作業を進める。

町長 多くの防災アドバイザーのお話を聞くなかで、大切な活動を改定に盛り込む。

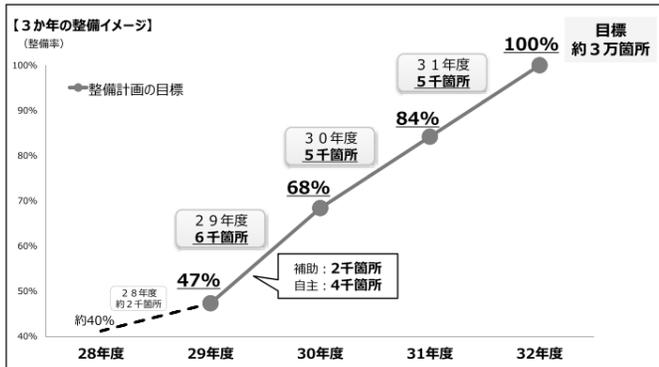
問 永平寺町における

救急救命体制の取り組みは。

消防長 計画に基づき救命士を養成し、出動時、救急救命士が2名は乗車できるような体制をとりたい。

問 救急業務の高度化が進んでいるが対応は。

消防長 高度な知識と技術が求められる中、研修や講習会に参加



総務省の防災等に資するWi-Fi環境の整備の進め方

問 生活道路の安全確保は

答 安心・安全な生活道路に鋭意努力



中村 勘太郎 議員



京善原目線の入り口

問 県道稲津松岡線から越坂地区へ入る京善原目線の入り口が大変狭い。どうして改善されないのか。

町長 数十年前からの課題。地域の要望をお聞きして、県へ重要案件として毎年要望しておりますが、関係地係の貴重な財産を提供して頂く課題があり、しっかりと慎重に、また迅速に進めたい。

問 この入口の拡張の重要性は、どのように理解されているのか。

町長 越坂の住民の方々の、生活道路として、この道路しかなく日々は勿論、冬期間は坂道で大変危険な箇所。更には大規模自然災害等においては孤立する地域になる恐れがあると理解している。

問 この交差点拡張の重要性を理解されるのであれば、なぜ別ルートにおける、区内から他地区へ抜けるループ型の安全道路を確保されないのか。

副町長 当案件については、何十年前から検討しております。石舟

地区とか、吉野地区へ結び、防災面でも安全安心な生活道路の構築に向け、鋭意努力している。

問 それだけ理解している、なぜ数十年も進まないのか。

町長 今までも現状の地形でいろいろ検討してきたが課題が多く実現していない。まずは交差点付近の住民のご理解を頂き、迅速に、

県土木や道路公安警察関係に、十分な説明をし、地域住民にお応えしたい。

問 障がい者福祉の充実へ就労施設実現を

答 就労施設整備には支援



奥野 正司 議員

問 障がい者経済的自立支援のため、公的機関が物品・サービスを調達する際、障がい者就労施設等から優先的に調達する法律が定められ、本町もH28年55万円購入。その絶対額は他市町に後れを取る。原因は。

福祉保健課長 他市町と比べ、清掃業務等役務の提供や給食用品、弁当等の提供がなく金額が小さい。

問 就労支援施設からの調達が伸びない主因は、本町に就労施設が無いため。1月現在県下で133か所の就労施設があるが、行政区域内に就労施設がない先

は本町と高浜町。本町助成制度は他市町と比べ差があるか？

福祉保健課長 社会福祉施設整備助成制度は、国庫事業で2分の1、県補助4分の1。市・町は個別に助成制度設ける。

問 本町よりも人口や予算規模の小さい町にも作業所がある。本町は作業所がいつまでも無く、障がい者社会復帰機会が薄い、障がい者就労環境のお寒い状況。総合振興計画に掲げる「ノーマライゼーション」の理念に基づく障がい者自立生活への環境づくりへの取り組みは。

福祉保健課長 障がいのある方が地域で生活できるように支援すべく、施設整備にあたる人があれば当然支援する。

【その他の質問】

問 ふるさと納税の今後の制度設計は

答 前年度1166万円、返礼率3割へ見直し

問 五松橋南詰通学危険箇所改善は

答 交通指導員配置継続、信号機設置要望

問 五松橋南詰狭い危険箇所改善は

答 危険性認識。都市計画道路であり拡幅要望継続

問 介護で離職…相談せずが約半数

答 まだまだ周知されていないのでしょうか



金元 直栄 議員

問 介護で離職、誰にも相談しなかったという人が48%にも上ると報道された。相談先は複数回答で、上司や人事部が24%ケアマネは10%、自治体や包括支援センターへは5%だ。

福祉保健課長 この数字にはびっくりしている。制度利用の周知や介護休暇制度の普及へ、身近なところで相談会を設け、身近な問題としてPRにつとめる。

3割負担の導入等、利用しにくくなる介護保険制度だが、せめて介護離職のない町にしてみたい。

編集方針により2問目以降の内容は割愛しました



問 幼児・幼稚園の統廃合、民営化は

答 平成30年度に方向性を示す



川崎 直文 議員

問 幼児園・幼稚園の統廃合及び民営化の検討は、第3次行財政改革大綱・実施計画の中で進められている。今年度、来年度の取り組み、到達目標を確認する。

子育て支援課長 平成29年度は、施設の適正配置及び民営化についてさまざまな角度から検討する。

問 町の幼児園、幼稚園が抱えている課題は。

児童数の減少、平成28年度に策定した幼児園・幼稚園施設長期保全再生計画で示した施設の老朽化・改修の多額経費、保育士の不足、将来の財政への負担軽減の運営経費改善、幼児・幼稚園と小学校の連携などの課題がある。

第3次行財政改革大綱・実施計画 平成28年度～平成32年度

(2)組織の整頓・効率化

NO	主要取組事項	所管名	到達目標	スケジュール					
				H28	H29	H30	H31	H32	
10	幼児園・幼稚園の統廃合及び民営化の検討	子育て支援課	経費削減の取り組み、平成30年度						

問 自動運転実験メリット・デメリットは

答 多方面で大きな広がりが期待できる



楽間 薫 議員

問 先の新聞等で自動運転実証実験のモデルカーの走行が大きく報道されていた。このことは本町にとっても誇らしく心わくわくすることだ。そこで実験が行われる本町にどのようなメリットが想定されるのか。

総合政策課長 まず、デメリットとして道路整備中「参ろーど」の利用が制限されること。実験中、利用者が多い時実験を制限すること等が考えられる。メリットについては、本格的には来年度だが、車両を使って普及活動ができたたり、国・県・町が一体とな



試運転のモデルカート

った取り組みとPRができ、中央から多くのジャーナリストが取材に訪れ報道してくれたら、民間企業による実証実験も今後考えられる。町としては「参ろーど」をオープンラボという形で広く開放したいと考えている。これまでも広くPRできている。児童生徒にも体験していただき最先端の技術を体感し、学習のチャンスも考えられる。また、福祉部門に活かされないか等、開発企業等とも話し合いたい。メリットはこれから広がりが大きいと考える。

問 どのような手順で、来年度に方向性を示すのか。

子育て支援課長 平成29年度は、まず庁舎内で関係各課と連携して課題整理をもとに検討する。

町長 住民の意見を反映した中で検討結果を取りまとめ、方向性を示す。

町長 メリットは自動運転プラスアルファとして企業誘致の規制緩和の法案であったり、経済産業省、民間の方々との情報交換の場もできた。この事業を

問 もちろん地元事業者に発注されると思う

総合政策課長 拠点整備事業等交付金の採択を受けて1億2000万円。

【その他の質問】
問 町道納戸坂線の開通に向けて
答 まずは、現地調査実施
問 地域おこし協力隊の退職が示すもの
答 彼らの夢に、十分応えきれず

問 永平寺町「さと・まちづくり」構想

答 四季の森や駅周辺と結びつけたい



伊藤 博夫 議員

問 「まちあそびの水辺（九頭竜川）」大学の生の提案は。

総合政策課長 九頭竜川の資源を積極的に活用できておらず、人々が水辺から遠ざかっているのが現状である。水辺に親しむ機会を増やし、賑わいを創出する案を提示し、河川敷での親水空間の利用を行うためテラスを設けたり、ものづくり体験

問 「まちあそびの駅（永平寺口）」大学生の意見は。

総合政策課長 まちづくりを駅周辺中心に行ってきたため、九頭竜川のような自然と結びつけた提案が今まで弱かった。まず散策コースとかジョギングコースづくりで意見が出るのでは。



永平寺口駅から望むレンガ館

問 「まちやすみの森（緑の村）」大学生の意見は。

総合政策課長 永平寺口駅から緑の村間の調査を行った。魅力的な

問 「まちあそびの水辺（九頭竜川）」大学の生の提案は。

総合政策課長 九頭竜川の資源を積極的に活用できておらず、人々が水辺から遠ざかっているのが現状である。水辺に親しむ機会を増やし、賑わいを創出する案を提示し、河川敷での親水空間の利用を行うためテラスを設けたり、ものづくり体験

問 大丈夫?!設立会社と宿泊所

答 ソフト事業充実で稼働率UP



上田 誠 議員

問 簡易宿泊所禅の里笑来の運営では一棟貸しのため高い料金と全国平均の稼働率で試算。4年目で黒字計上（赤字分が町からの指定管理料）しているが計画が甘い。

総合政策課長 簡易宿泊所の料金設定は調査の結果妥当と認識。ソフト事業の充実と産学官連携で稼働率を上げる計画。



7月7日オープンした禅の里 笑来

問 まちづくり会社の設立後（町出資比率70%、社長は副町長）の

総合政策課長 設立の目的は町の発展、活性化。産学官の各種連携事業でビジネスチャンスを捉え経営を成立させる。

問 『えい坊館』を夢の実現の場に

答 地域おこし協力隊に期待



滝波登喜男 議員

問 今ある公共施設は126施設。それをこのまま維持していくと年間143億円必要とする。一方、財政見通しでは、施設維持費に充てられる費用は3.8億円。企業なら倒産状態にある中で、新しい施設ができていく。まず『えい坊館』の目的は「町の情報発信と住民交流の場の提供」となっている。先日、地元企業が「酒蔵イベント」を実施し大盛況で、スタッフの頑張りも大変評価できるものであった。このように、企業や団体・個人がイベントや趣味の発表など、手軽に

問 「禅の里笑来」は、何のための施設なのか。宿泊施設が不足しているからと言って、行政が行うべきではない。次世代にその付けが回る。

町長 産学官の協議の中で、町外に宿泊して町内施設を利用するという課題が出た。今回寄付を受けた民家を改

編集方針により2項目以降の内容は割愛しました

【その他の質問】

問 財政計画が今後の町を救う

答 財政把握と投資の呼び込みで対応

問 地区の若者が重要!!若者対策

答 若者の企画に予算を付ける

【その他の質問】

問 職員が積極的に意見の言える職場環境を

答 全職員に対し、ヒアリングを実施している

問 I・Uターナー者支援策のPRを強化して

答 都会での県のイベント参加時に積極PRを実施する

【その他の質問】

問 職員が積極的に意見の言える職場環境を

答 全職員に対し、ヒアリングを実施している

問 I・Uターナー者支援策のPRを強化して

答 都会での県のイベント参加時に積極PRを実施する

《少子高齢化と人口減少問題》

意見 少子高齢化・人口減少は全国的なことでも誰かが心配で、思っていることを述べる。

現在、御陵小124人、志比南小90人、志比北小36人、吉野小81人。生徒数が非常に少ない。なぜ減っていくのか。これを解決するには、減った減ったと言うのではなく、区画整理事業を行い20～30年先を見越した計画をすることを提案したい。子どもの数が減り過ぎると、長男が結婚し子どもが出来ても、その子どもの遊ぶ友達がいないため、地区から出ていく現実がある。

北インター地域の開発を推進すべし。福井市と力を合わせて都市計画作りを強力に進めるべし。金沢エリア、白山市等への企業立地を見れば分かる。

【下合月集落生活改善センター】

議会 町長も鋭意努力をしており、今後とも努力する。

意見 全国的な少子高齢化の流れの中で当町も現在の姿がある。少子高齢化がもたらすマイナス面だけでなく、プラス面を発掘する必要もあるのではないかと。少子化を考えると、未婚率の上昇がある。保護者の教育費負担の不安とか、子育て負担の軽減を図るべく放課後児童クラブスタッフの待遇改善も含め受け皿の充実を考える必要があるのでは。志比児童クラブは支所3階だが災害避難に不安がある。児童館、共働き増のため60数人いる。少し狭い。

【東古市ふれあい会館】

問 民間の婚活にも面倒なのか足をのばさない。結婚はしたいけれどなかなか行動に移せない。結婚年齢が上がっているが、晩婚化が進むと結婚に煩わしさを感じてくる傾向もある。結婚相談員は今でもいるのか。

【東古市ふれあい会館】

行政 永平寺町婦人福祉協議会において、結婚相談事業を実施している。毎月第2・3・4土曜日の午後1時30分から3時30分まで町立図書館（松岡館）において相談を受け付けており、昨年度は107件の相談があり、お見合件数13件、成立2件の実績となっている。

町民の声を議会へ

ダイジェスト版

議会と語り合

(※ 質疑内容抜粋)

平成29年4月26日27日28日 実施

町民からの質問・要望等への回答

問 町の施策は国の補助金が頼りになっているので、どこの市町でも同じような施策になっている。独創的な施策が必要。人の流出がない集落は三世同居の多い集落で、家長が家族を統率している。核家族が人口流出の原因。核家族化が増加して、老人の独居や老々世帯が多くなり、限界集落に片足を入れている。大切なのはこれからどうするかである。移住よりも町から人が出ていかないようにする。町に住み続けるメリットを打ち出すべき。都市計画の規制はどうなったのか。

【光明寺集落生活改善センター】

議会 九頭竜川から南は福井市都市計画区域になり、この地区は準都市計画区域となっている。永平寺地区は幅員が4メートル以下の道路が多いので、道路面を空けて家を建てなければならない。松岡地区の吉野と芝原は田んぼを持っていないと家が建てられない。福井市の施策は良くないので人口が坂井市方面に流出している。

問 上志比地区の小中学校とも児童・生徒数が減少しているが、統廃合せず残してほしい。大幅に減ったときの教育環境を考慮すべきと思うし、課題であると思う。

【山王農業構造改善センター】



※紙面の都合上、掲載できなかった質疑内容・回答はホームページほか、役場本庁・永平寺支所・上志比支所でご覧いただけます。ご了承ください。



永平寺町議会 検索

議会 上志比小学校の児童数は134名、上志比中学校の生徒数は76名と減少傾向にある。町では平成30年に現在の幼稚園を、平成32年に現在の小中学校の方向性を示していくとしている。

問 若い世代では永平寺町に行く方が良いと福井市で聞いた。今、流出世代の現状や理由は把握しているのか。結婚すると福井市に住む現状である。若い人が住める町づくりの必要がある。

【薬師ふれあい会館】

議会 学校へ行って就職を都会とする現状、働く場所が都会にあります。3世代の同居が出来ればいいのではないかと思います。行政が出来るものもあるが、住民がどうするか考える必要もあります。

問 大野市では小中学校の再編が行われようとしているが、永平寺はどうなっているのか。地域にとって学校が中心なので残すべきとの意見もあるが、志比北小学校の36人は運動会などの活動に課題がある。財政面から考えると統廃合するべきと思うが。

【柘原生活改善センター】

議会 議会の中でも意見が分かれている。町では平成32年に小中学校、平成30年に幼稚園の方向性を示していきます。

問 現行の子育て支援では、支援してもらって、大人になると町外へ出て行ってしまうのではないかと。

【芝原1丁目区民会館】

議会 町によっては、給付型の奨学金制度を取り入れているところもある。本町では奨学金の

町内12会場で開催し、3日間で延べ156人の方が会場に足を運んでくださいました。

利子補給をしている。本町内に高校がないのが問題。高校設立の話があった時、電車があり福井市への通学が便利だったので高校新設に力が入らなかった。教育が一貫したものがあれば戻ってくるのではないかと。

問 老後、竹原に移住してきた人がある。移住してきた理由は鮎釣りをする人にとって九頭竜川は魅力のある川である。長く川を守ってほしい。

【竹原集落生活改善センター】

議会 昔はサクラマスもたくさん釣れた。美しい川を守ることも大切な事業である。アユが釣れないと釣り人が来なくなる。

《その他》

問 今の中部縦貫自動車道の予定しているインターでは、大本山永平寺に行くアクセスについては良くないのでは。アメリカのガイドブックには福井県の観光地として永平寺だけが掲載されていた。それくらいの観光地であるのに、もっと考えないといけないと思う。

【上吉野集落生活改善センター地区】

議会 今は、ZENを旗印に観光発信している。また近隣5市町（勝山・あわら・坂井・加賀・永平寺）でインバウンド政策を考えており、先日も各市長の首長がそろって香港にてアピール活動を行っている。また、永平寺門前の大改革を進めている。

問 下吉野へ回る道へ越坂2丁目から連結されていないため、町内へ入る道路が狭隘な一本道で、回遊性がなく不便である。

【越坂2ふれあい会館】

行政 越坂地区への進入道路は県道京善原目線のみだが、この道路は未改良であり、以前から交差点付近の改良および吉野区方面へ通じる別路線設置の要望を受けている。別路線設置については実現に向けて測量を行ったが、現場条件により設置を断念した経緯がある。交差点改良については現在、今年度中に何らかの成果が得られるよう、事業化に向け道路管理者である県との協議を進めているが、貴重な財産を提供いただく必要があるで、極めて慎重に、かつ迅速に進めたいと考えている。

議会・各委員会の議員出欠状況

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退
 -…員外 傍…傍聴 吊…吊事 研…研修

日付	開催委員会等	上坂久則	滝波登喜男	長谷川治人	朝井征一郎	酒井要	江守勲	小畑傳	上田誠	金元直栄	樂間薫	川崎直文	伊藤博夫	奥野正司	中村勲太郎	川治孝行	長岡千恵子	多田憲治	齋藤則男
6月14日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月14日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月12日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月9日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月9日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月8日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月7日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月7日	定例会(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月6日	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月5日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月29日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月29日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月22日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月22日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月22日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月16日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月11日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月11日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月11日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月20日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月20日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月20日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月12日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月4日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月4日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月30日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数																		
	会議回数																		
	出席率																		

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間 2017年7月21日(金)~7月25日(火)

時	7月21日(金)	7月22日(土)	7月23日(日)	7月24日(月)	7月25日(火)	時
8	00 5月11日 臨時議会	00 6月6日 一般質問③ 上田誠議員	00 6月5日 一般質問① 長岡千恵子議員 長谷川治人議員 川治孝行議員	00 6月8日 予算決算常任委員会	00 6月6日 一般質問① 奥野正司議員 江守勲議員	8
9	52 文字告知放送	13 文字告知放送	46 文字告知放送	57 文字告知放送	43 文字告知放送	9
10	00 5月29日 開会	00 6月7日 一般質問 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	00 6月5日 一般質問② 川治孝行議員 小畑傳議員 上坂久則議員	00 6月14日 本会議	00 6月6日 一般質問② 川崎直文議員 樂間薫議員 金元直栄議員	10
11	54 文字告知放送	01 文字告知放送	31 文字告知放送	09 文字告知放送	03 文字告知放送	11
12	00 6月5日 一般質問① 長岡千恵子議員 長谷川治人議員 川治孝行議員	00 6月8日 予算決算常任委員会	00 6月5日 一般質問③ 朝井征一郎議員 多田憲治議員 中村勲太郎議員	00 6月14日 本会議	00 6月6日 一般質問③ 上田誠議員	12
13	46 文字告知放送	57 文字告知放送	43 文字告知放送	16 文字告知放送	13 文字告知放送	13
14	00 6月5日 一般質問② 川治孝行議員 小畑傳議員 上坂久則議員	00 6月14日 本会議	00 6月6日 一般質問① 奥野正司議員 江守勲議員	00 5月11日 臨時議会	00 6月7日 一般質問 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	14
15	31 文字告知放送	09 文字告知放送	43 文字告知放送	52 文字告知放送	01 文字告知放送	15
16	00 6月5日 一般質問③ 朝井征一郎議員 多田憲治議員 中村勲太郎議員	00 6月14日 本会議	00 6月6日 一般質問② 川崎直文議員 樂間薫議員 金元直栄議員	00 5月29日 開会	00 6月8日 予算決算常任委員会	16
17	43 文字告知放送	16 文字告知放送	03 文字告知放送	54 文字告知放送	00 6月5日 一般質問① 長岡千恵子議員 長谷川治人議員 川治孝行議員	17
18	00 6月6日 一般質問① 奥野正司議員 江守勲議員	00 6月14日 本会議	00 6月6日 一般質問③ 上田誠議員	00 6月5日 一般質問② 川治孝行議員 小畑傳議員 上坂久則議員	00 6月14日 本会議	18
19	43 文字告知放送	52 文字告知放送	13 文字告知放送	00 6月7日 一般質問 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	57 文字告知放送	19
20	00 6月6日 一般質問② 川崎直文議員 樂間薫議員 金元直栄議員	00 5月29日 開会	00 6月7日 一般質問 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	31 文字告知放送	00 6月14日 本会議	20
21	00 6月6日 一般質問② 川崎直文議員 樂間薫議員 金元直栄議員	00 5月29日 開会	00 6月7日 一般質問 滝波登喜男議員 伊藤博夫議員	00 6月5日 一般質問③ 朝井征一郎議員 多田憲治議員 中村勲太郎議員	00 6月14日 本会議	21
22	03 文字告知放送	54 文字告知放送	01 文字告知放送	43 文字告知放送	00 6月14日 本会議	22
23						23
24						24

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!

4/11 鮎中間育成施設竣工式



永平寺町飯島地係に県内初のアユ・サクラマス
を同時に育成することができる鮎中間育成施設
が完成しました。県内外からたくさんの釣り客
の来訪を期待します。

5/25 永平寺地区体育祭



来年は福井国体で中
止となるため、今年
は春にそれぞれの地
区において体育祭が
行われました。
地区対抗の競技では
特に熱い戦いが繰り
広げられました。

6/18 松岡地区体育祭



6/25 上志比地区体育祭



4/15 浄法寺山山開き



浄法寺山山開きに齋藤議長と地元の川崎議員が
神事と式典に参列し、今年1年の登山者の安全
を祈願しました。

6/4 水防訓練実施



梅雨入りの時期
を前に、水害や
土砂災害に対す
る技術の習得を
目指した水防訓
練に参加し、議
員も土のう作り
をしました。

5/15 いちほまれ田植え式



いちほまれの田
植え式が、西川
知事はじめ関係
者と、幼児園児
らも参加して賑
やかに行われ、
苗を受け取った
幼児たちが、一
列に並んで植え
付けを行いました。
収穫が楽しみです。

6/28 宮城黒川地方町村議会議長会視察来町



宮城黒川地方町村議会議長会の管内町村議長ら7
名が「学校教育に対する考え方、取組み、議会運
営等」について視察のため来町しました。

5/15 自動走行実証実験に向けた調査



「永平寺参る一ど」で、自動走行実証実験に向
けた調査が行われ、議長や議員も電気自動車に
試乗しました。

6/29 勝山市との意見交換会



勝山市議と各常任委員
会の委員長らが、そ
れぞれ市町の「観光
振興」について意見
交換会を行いました。
お互いに切磋琢磨し、
さらに交流が深まる
ことを期待します。

福井しあわせ元気国体応援

全国小学生男子連覇 女子2回目 ハンドボール大会優勝をめざす

小学生ハンドボールチーム 北陸電力ジュニア・ブルーロケッツ

今年の福井しあわせ元気国体プレ大会の第22回ジャパンオープンハンドボールトーナメント、来年の福井しあわせ元気国体の成年女子、少年女子のハンドボールが、永平寺町で開催されます。競技会場は北陸電力㈱福井体育館フレアです。

体育館フレアで練習に励む

「北陸電力ジュニア・ブルーロケッツ」

この北陸電力㈱福井体育館フレアで、全国大会で優勝をめざす小学生ハンドボールチームが練習に励んでいます。

日本ハンドボールリーグ所属の北陸電力ブルーサンダー直轄ジュニアチーム「北陸電力ジュニア・ブルーロケッツ」です。2011年8月に地域のジュニア層の育成・強化を目的に設立され、現在のメンバーは小学生1年生から6年生までの男子30名、女子16名。ブルーサンダーOB田中秀昭監督の指導のもと、元気いっぱい楽しく、真剣に練習しています。

チームの練習は、水・土・日曜の週3回。

永平寺町からのメンバーは、松岡小学校の齋藤瑛太君、上口凌牙君、前川幸輝君(4年生) (3年生) (3年生)です。



「第29回全国小学生ハンドボール大会」

男子初優勝

昨年7月29～31日に京都府京田辺市で開催された「第29回全国小学生ハンドボール大会」(男子39チーム、女子38チーム参加)で、男子チームが初優勝しました。



女子チームは予選で一点差で敗れ、予選トーナメント突破は出来ませんでした。女子チームは第25回全国小学生ハンドボール大会で優勝しています。

中学生ハンドボールチーム

「永平寺ハンドボール・ブルーロケッツ」結成

今年の4月に中学生ハンドボールチーム「永平寺ハンドボール・ブルーロケッツ」が結成され、練習を始めています。

「地域のジュニア層への育成を小学生から中学生への強化で、チームを結成しました。永平寺町から多くの中学生の皆さんの参加を待っています。」(田中監督)

北電ジュニア

検索

(小畑、長岡、川崎)

編集者のひと言

前々回からの議会、たよりで、国体を目指すがんばる団体を紹介しております。

今年はプレ大会の年で、永平寺町でもハンドボール・バスケットボール・ソフトボールの3競技が開催されます。

今回は、ハンドボールをご紹介します。

全国小学生大会県予選会で、男女とも北陸電力ジュニア・ブルーロケッツが優勝し、全国大会出場を決めました。

また、今年4月に中学生ハンドボールチーム「永平寺ハンドボール・ブルーロケッツ」が結成され、議会においても地域のジュニア層の育成を応援していきますので頑張ってください。

(朝井 記)

議会広報特別委員会委員

委員長 小畑 勲

副委員長 江守 守

委員 朝井 征一郎・楽間 薫

委員 川崎 直文・奥野 正司

委員 長岡 千恵子

発行責任者

議長 齋藤 則 男